

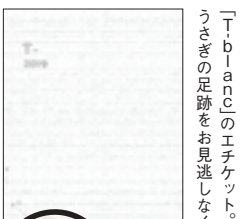


右／近藤拓身さん。飾らない人柄と、ものづくりへの真っ直ぐな姿勢が感じられます。
 上左／きつい傾斜地に広がるタブ・コブ農場「タブ・コブ」はアイヌ語で盛り上がったような丘という意味だそう。できるだけ化学農薬を控えたブドウ畑は自然のありのままに近く、鳥のさえずりと虫の羽音が響いています。



ユニークなエチケツト

ワインボトルのラベルは「エチケツト (étiquette)」と言われます。フランス語で、「礼儀作法」のエチケツトと語源は同じなのだそう。もともとは宮廷に立ち入る際に守るべきことを書いて貼り付けた札。その作法のことを言いました。ワインのエチケツトからはワイン名や産地、ヴィンテージ、ブドウの品種などさまざまな情報を読み取ることが出来ます。栗澤ワインズでは、近藤兄弟それぞれのワインのエチケツトは拓身さんがデザインしています。キツネとウサギのストーリー仕立てになっていたKONDOヴィンヤードの「Konkonnori」は、拓身さんのユーモアがきいたエチケツトとして人気でした。管理する「タブ・コブ農場」が、ブドウの芽を食べるウサギとの闘いだっただから、このストーリーを思いついたのだそうです。(アイテムの変更によりストーリー仕立てのエチケツトは休止しています) たくまるのオリジナルブランド「T・blanc」は、写真(右)の通り、シンプルなおエチケツトによく見るとウサギの足跡が…。今後も拓身さんのエチケツトデザインに注目です。



「T・blanc」のエチケツト。うさぎの足跡をお見逃しなく！

自然のありのままを表現する アートとしてのワインづくり

「絵を描くことやデザインをはじめとした「ものづくり」が好きだという拓身さんにとって、「ワイン造りも」ものづくりの一つ。できるだけ化学農薬の使用を控え、自然に任せたブドウ栽培や、ブドウのありのままのポテンシャルを引き出すワイン造りは拓身さんの感覚を刺激します。自然への敬意を創作で表現するののように、KONDOヴィンヤードのワインラベルのほとんどを拓身さんがデザインしています。拓身さん自身は肩に力が入ることなく、いたってニュートラル。「こだわりがないのが僕のこだわり。誰が飲んでも普通に美味しいワインを造っていきたい」と語ります。

栗澤ワインズ たくまる

Kurisawa Wines Takumaru

近 藤拓身さんは、もともと東京でデザインの仕事に就いていましたが、兄であるKONDOヴィンヤードの近藤良介さんがきっかけで北海道に戻り、2012年に就農。三笠市にある「タブ・コブ農場」の一部を管理するようになりました。ブドウ栽培と醸造を学び、ファーストヴィンテージは2016年。その後、中澤一行さんらとともに「栗澤ワインズ」を2017年に設立。2022年には「たくまる」という屋号をとり、自身のブランドを確立させています。

たくまる

(醸造所:栗澤ワインズ農事組合法人)

- ☑️ モセウシ農場&栗澤ワインズ/
北海道岩見沢市栗沢町茂世丑774-2
- ☑️ タブ・コブ農場/
北海道三笠市達布地区
- ☑️ 非公開



<T-blanc/750ml>

VINEYARD DATA

- 主な栽培品種：複数品種混植、
ピノ・ノワール、ソーヴィニオン・ブラン、
オーセロワ、ピノ・グリ他
- 生産本数：2,000本/年 ● 栽培面積：2ha
- ファーストヴィンテージ：2016年
- ラインナップ：T-blanc/750ml B+/750ml